

平成21年度第3回後見的支援推進プロジェクト会議録	
日 時	平成21年7月17日（金）午後2時～4時
開催場所	関内中央ビル（公社側）5 B 会議室
出席者 （敬称略）	<p>&lt;委員&gt; 八島敏昭、坂田信子、瀧澤久美子、阪野圭二、金子恵子、和田千珠子</p> <p>&lt;事務局&gt; 松田米生、高木美岐、國分忠博、高橋智一、鈴木和男、佐藤裕子、小池美恵子</p>
欠席者	川島志保、深井浩治、
開催形態	公開（傍聴者1人）
議 題	<p>1 前回の議論の整理</p> <p>2 後見的支援の仕組み（案）の検討</p> <p>3 まとめ</p>
議 事	<p>&lt;8月26日の部会で出た意見を報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『金銭管理の後見的支援』は意見として出ているか」という質問があった。坂田委員から「金銭管理は既に、あんしんセンターを含めた関係機関で対応をしていると思う」と答えていただいた。</li> <li>・福祉と弁護士がつながるのはいいが、その関係の中に本人が出てこないのはなぜかという質問があった。事務局から「後見的支援というのは法定後見で100%支援しきれないところについて仕組みを作っていこうというもので、決して本人不在ということではない。ネットワークをつくっていくものだ」と説明した。他</li> </ul> <p>&lt;資料の説明&gt;</p> <p>&lt;コーディネーターの機能・位置づけ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親の担っているコーディネーター機能は、今のところ置き換えられるものではない。</li> <li>・コーディネーターは、本人の希望に基づいて、自立生活を支援する計画を作ってほしい。親は、それに類するようなことをやっている。しかし、そのためには膨大な数のコーディネーターが必要で、理屈上ではそれは後見人の仕事であると考えられる。</li> <li>・親は問題が発生するような事態にならないようにコーディネートしている。だから、セーフティネットがあるから安心だと言われても、本質的な安心にはつながらない。困った事態にならないような仕組みがほしい。</li> <li>・親が担っているコーディネーターの機能を、親亡き後にもきちんと残していくようなシステムを作り上げておく必要がある。それは、コーディネーターに全て期待するということではなく、親も一緒になって作り上げるものだと思う。</li> <li>・施設などで作成された個別支援計画と、親がつくったライフプランみたいな</li> </ul>

ものとしり合わせて、チェックをしていく機能がコーディネーターにあるといい。

- ・コーディネーターには、本人の様子を時々見て、本人の暮らしを時々チェックしてほしい。
- ・支援センターのコーディネーターの整理が必要。また、成年後見人との役割分担が必要。
- ・成年後見の中で、身上監護の部分がなかなか委ねきれない。緊急のときであっても、その人を知っている人が動くのと、知らないものが動くのとでは違うので、この仕組みに関係性づくりをどう盛り込むかが重要だ。
- ・「コーディネーター」「あんしんキーパー」と新しい名前が出てきて、親は混乱するのではないか。現在でさえ、「自立生活アシスタント」や「相談支援事業」「ケースワーカー」等、いつ誰のもとに行けばいいかということを知らない人がいる。
- ・今ある関係性をおさえていくことが必要。
- ・バックアップ組織がないと、コーディネーターはすごく孤独だ。孤独だと、適切な支援は難しいので、チームになっていたほうがいい。
- ・そもそも課題がたくさんあるという人は必要に応じて対応しているので、コーディネーターは、普通に暮らしているものの将来に対する漠然とした不安があるという人に対して何かしらの支援が求められている。それを仕組みで叶えてほしい。
- ・当事者が「頼る」内容というのは、病院について行く・区役所について行くというレベルを期待している人が多い。
- ・精神障害者が必要としている支援は、基本的には服薬管理と金銭管理だ。ただ、対人恐怖や視線恐怖などを持っている人は、一緒に出かけるなどの「見守り」も必要としている。
- ・親亡き後は、「住み心地のいい自分の居場所」がほしい。
- ・本人がここまでしっかりしてきたから、親はいつ亡くなっても大丈夫と言えるように、本人が様々なことを学ぶ必要もある。
- ・孤独な人を発見してほしい。

#### <あんしんキーパーとは？>

- ・あんしんキーパーは本人が暮らしている近くの人だと思う。本人の住まいの場所が変われば、変わらなければならないものだろう。
- ・この制度を始めた以上は、「誰があんしんキーパーか、5年経ったらよくわからない」ということがないようにしておかないといけない。あんしんキーパーが変わった時には、「今度変わりました」など、はっきりメリハリをつけた方がいい。
- ・本人と同世代で友達関係になる人が、まず一人ほしい。案に出ている身近な相談者とは、民生委員やどこかの相談機関の人だ。コミュニティーフレンドのように、一緒にいるだけでもいいという感じの人がほしい。そういう人が定期的

に月2回ほど訪問、または、電話などしてくれるといい。

- ・ガイドヘルパーを何回か使って、その中で気に入った人にあんしんキーパーをお願いしたらどうか。
- ・あんしんキーパーはおそらく複数必要だ。親の会のお母さんでもいいし、あとはグループホームや、作業所の職員のような知り合いの方などの身近な相談者がいい。これを制度化すると、報酬の問題もあると思うが、それは交通費程度にしないと、広がらないのではないかと思う。
- ・災害時などに要援護者に対しては、地域の有事の際に「どうしているかな。見に行こう」という制度ができつつある。あんしんキーパーに求めるのは、このように気にかけてくれる存在だ。
- ・福祉系の大学に行っている人がアルバイト感覚でできるようなものでもいい。
- ・家庭のプライベートなことも知ってしまうのだから、ボランティアの延長として考えるべきものではない。
- ・友達感覚の人の見守りと、権限を持って定期的に訪問してくれるあんしんキーパーなど複数必要だ。
- ・支援の並行利用などで、どんどんサービスが細切れになっていき、本人のことを誰もがちりつかんでいないというところが問題だ。トータルでつかんでいる人がほしい。
- ・訓練会の協力者、作業所のボランティアなど、日常の本人をよく知っている人にあんしんキーパーの役割を担ってほしい。
- ・支援の連携をとるために、キーパーソンを設定して、地域活動ホームとの連携を取るなどの役割を担ってほしい。
- ・あんしんキーパーが訪問して、本人の日常生活の変化をキャッチしたときに、誰にどうつなげていいかというのを考えなければいけない。
- ・あんしんキーパーは自立生活アシスタントの、自立を除いた生活アシスタントというイメージをしている。

#### <コーディネーターとあんしんキーパーとの役割分担>

- ・コーディネーターは本人の希望と目標に基づくライフプラン・自立支援計画と一緒に立ててくれるような人で、将来や現在の生活全般をマネジメントしてくれるようなイメージ。対して、あんしんキーパーは何か特別なことをしてほしいというよりは、定期的に見に行き、何か問題があったときにそれをキャッチして、どこかにつなげてほしいというイメージ。
- ・コーディネーターにはあまり期待するべきではない。あんしんキーパーは家族や親の代行をする存在であってほしい。
- ・きちんと親が書き上げた意向書やライフプランなどをコーディネーターがチェックしていく機能を持っていると、親として安心だ。コーディネーターには、親と一緒にそれらを作ってもらい、さらにそのチェックをしてほしい。
- ・プランのチェックにコーディネーターが結局ずっと関わっていなければいけな

	<p>くなってしまうと大変だ。立てた計画の進行管理も含めて、役割分担が必要だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• とにかくコーディネーターには、「漠然とした不安を解消する何かの手伝いをしてほしい」というイメージ。</li> <li>• 本人の生活を一緒に考えるチームができたときに、コーディネーターは、あくまで調整役として、その機能が動いているかどうか確認をしながら、動いていない場合には、揺さぶりをかけるなどの役割がある。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 仕組みをつくりつつ、コーディネーターと呼ばれる人材育成をどうしていくかというのも、並行して重要なことだ。</li> <li>• 自閉症に関していえば、東京の親の会が母体となっている NPO 法人で、4～5年前から「NPO で成年後見をやります」というものがある。</li> </ul>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>資料1 後見的支援推進プロジェクトで議論する部分</p> <p>資料2 「親なき後も地域であんしんして暮らすために、親ある今のうちから「本人」を支える仕組みを考える」</p> <p>資料3 親亡き後も地域であんしんして暮らすために、親ある今のうちから「本人」を支える仕組の図それぞれの役割</p> <p>2 特記事項</p> <p>次回は、8月18日（火）に開催予定。</p> <p>開催場所 関内中央ビル（公社側）3階 3A会議室</p>